

東大阪市養研・中河内支部養研 養護教育研究会

東大阪市にある社会教育センターで2月12日(火)に中河内養護教育研究会の発表を兼ねた実践交流会が行われました。当日は東大阪市立玉美小学校の石川洋世先生が“好きなことから始めて”というテーマで3人の児童の取り組みを報告されました。石川先生は養護学級の担任になられた時、養護教育を理解するために参考になりそうな本を多く読まれたり、様々な講演会にも出られ、特別支援教育の実際を学びにアメリカにも行って来られたそうです。

会場ではアメリカでの教室の机の並べ方や机上の学習課題の置き方等を写真も交えて話されました。養護学級に在籍している3人の児童については、写真やビデオ、児童作品等で、学習の歩みを報告されました。まず、指先の器用なAさんの学習課題として、色や形の学習も兼ねて楽しめる物との考えから「シール絵」に発展されました。簡単な計算にもシールを使うことにより、自分一人の力で答えが出せたという達成感をもち、楽しく取り組んでいるとの話でした。

電車が大好きなBさんには、電車の絵本を教材として使われ、絵本の文章を視写したり、漢字学習や読解にも活用されました。やさしく繊細なCさんには、少しでも自信ができ、自尊感情が持てるような支援を第一と考えられました。そこで、大好きなムシキングや恐竜を教材として活用をし、無理のないスモールステップの課題を用意され、目に見える評価として、ポイントカードを作られたそうです。ひとり一人の“好きなことから始めて”その子の興味・関心を大切にしながら、子ども達の可能性を広げていくということを教えられた有意義な報告会でした。

(文責 枚岡西小 深堀)

